

ほのほのだいり

～ ワクワクするおすすめの絵本 ～

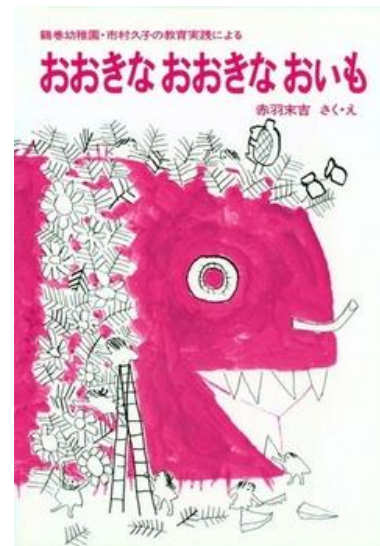
すっかり、秋めいてまいりました。澄んだ秋空を見上げると、心もスーッと爽やかな風が吹くような気がします。今月は、年長組が芋ほり遠足に出掛けます。また、3時のおやつには蒸かしイモが出ます。秋を感じながら、これらの絵本をゆっくり読む時間をつくっていききたいと思います。

「おおきなおおきなおいも」(幼児クラス向け)

出版社：福音館書店
原 案：市村 久子
作・絵：赤羽 末吉

発売から40年以上経って、なお読まれ続けているこのお話です。この絵本紹介でも幾度か紹介してきました。

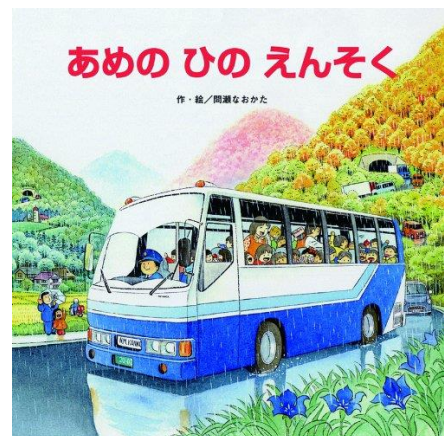
いもほり遠足を楽しみにしている子どもたち。遠足が雨で延期になってしまいました。「おいもは、こんなかな?」と、どんどん素敵な想像の世界を膨らませていく絵本です。



「あめのひのえんそく」(幼児クラス向け)

出版社：ひさたかチャイルド
作・絵：間瀬 なおたか

遠足の日、朝から雨が降ってしまいました。「雨は、やむかな…」とそんな気持ちに乗せながら、色とりどりの景色の中をバスが走っていきます。1ページずつ仕掛けのある絵本です。そして、最後には「わあ～」と心が和むしかけです。



「す～べりだい」(乳児クラス向け)

出版社：PHP 研究所
作・絵：鈴木 のりたけ

公園のすべりだいが「おかしい形だったら?」という作者の発想にびっくりするようなすべりだいのオンパレード。

「す～べりだい」「するする べりべり だいーん」と、それが全部絵になって再現されているのです。

絵本を読み終わったら、すべりだいへ駆け出します。

